



## 2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月10日

上場会社名 株式会社 eWeLL 上場取引所 東  
 コード番号 5038 URL https://ewell.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野 剛人  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 澤田 景一郎 TEL 06 (6243) 3355  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・個人投資家向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第3四半期の業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	1,499	29.5	708	29.8	710	34.1	474	30.3
2022年12月期第3四半期	1,157	-	546	-	529	-	364	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	67.57	62.42
2022年12月期第3四半期	55.20	54.59

(注) 1. 当社は、2022年9月16日に東京証券取引所グロース市場に上場したことに伴い、業績開示を2022年12月期第2四半期より行っているため、2022年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 当社は、2022年5月18日開催の取締役会決議により、2022年6月15日付で普通株式1株につき15株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	1,987	1,536	77.3
2022年12月期	1,649	1,105	67.0

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 1,536百万円 2022年12月期 1,105百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	-	0.00	-	15.00	15.00
2023年12月期	-	0.00	-	-	-
2023年12月期（予想）	-	-	-	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2023年12月期の業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,053	28.1	879	26.9	881	30.4	600	33.7	86.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	7,179,426株	2022年12月期	6,959,630株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	83株	2022年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	7,029,585株	2022年12月期3Q	6,605,722株

(注) 当社は、2022年5月18日開催の取締役会決議により、2022年6月15日付で普通株式1株につき15株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」および「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2023年11月10日（金）に機関投資家および個人投資家向けの四半期決算説明会を開催する予定です。四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報) .....	6
(重要な後発事象) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（2023年1月1日から2023年9月30日まで）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限は緩和され、外国からの入国制限も撤廃されるなど社会経済活動の正常化が進みました。しかしながら、長期化するウクライナ情勢による資源・エネルギー価格の沸騰や物価の上昇など、未だ先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中で当社は、「ひとを幸せにする」との経営理念のもと、中期経営計画2025（2023年1月～2025年12月）においてこの期間を「来るべき2025年問題を迎えた時、当社が在宅療養のプラットフォーマーとなるための準備期間」と位置付け、事業の拡大と収益性の向上に取り組んでおります。

当第3四半期累計期間の経営成績は、主力サービスの「iBow」の新規顧客獲得および「iBow事務管理代行サービス」の事業の確立に注力し、売上高は1,499,068千円（前年同四半期比29.5%増）、営業利益は708,891千円（同29.8%増）、経常利益は710,591千円（同34.1%増）、四半期純利益は474,995千円（同30.3%増）となりました。

当社は、訪問看護ステーション向けサービス提供事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。売上高をサービスカテゴリー別に示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

会計期間	売上高						計	営業利益
	クラウドサービス			BPOサービス		その他 サービス		
	iBow	iBow レセプト	その他	iBow事務 管理代行 サービス	その他			
当第3四 半期累計 期間	1,229,840	108,367	3,113	143,899	512	13,336	1,499,068	708,891

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は1,556,685千円となり、前事業年度末に比べ149,790千円増加しました。これは主に、現金及び預金の71,382千円減少、売掛金の60,682千円増加、流動資産「その他」の160,575千円増加したこと等によるものであります。固定資産は430,734千円となり、前事業年度末に比べ188,586千円増加しました。これは主に、本社移転等により有形固定資産が201,827千円増加、ソフトウェアの償却等により無形固定資産が5,123千円減少、投資その他の資産「その他」が7,795千円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は1,987,419千円となり、前事業年度末に比べ338,377千円の増加となりました。

## (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は383,506千円となり、前事業年度末に比べ68,929千円減少しました。これは主に、流動負債「その他」が46,406千円減少、未払法人税等が35,227千円減少、役員賞与引当金が60,000千円減少、1年内返済予定の長期借入金が88,080千円増加したこと等によるものであります。固定負債は67,828千円となり、前事業年度末に比べ23,671千円減少しました。これは主に、資産除去債務67,828千円を計上したこと、長期借入金91,500千円を1年内返済予定の長期借入金に振替えたことによるものであります。

この結果、負債合計は451,334千円と前事業年度末に比べ92,600千円の減少となりました。

## (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は1,536,084千円となり、前事業年度末に比べ430,978千円増加しました。これは主に、譲渡制限付株式報酬の払込および新株予約権の行使により、資本金が30,461千円増加、資本準備金が30,325千円増加し、また四半期純利益の計上により利益剰余金が474,995千円増加、配当金の支払いにより104,394千円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前事業年度末の67.0%から77.3%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期通期の業績予想につきましては、2023年8月4日に公表しました「2023年12月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

また、配当予想につきましては、本日（2023年11月10日）公表しました「株式分割および株式分割に伴う定款の一部変更並びに配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり、1株当たり20円配当といたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,075,210	1,003,828
売掛金	319,361	380,043
その他	13,216	173,792
貸倒引当金	△894	△979
流動資産合計	1,406,894	1,556,685
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	21,071	196,813
その他(純額)	6,395	32,481
有形固定資産合計	27,466	229,294
無形固定資産	101,117	95,994
投資その他の資産		
その他	114,460	106,665
貸倒引当金	△896	△1,219
投資その他の資産合計	113,563	105,445
固定資産合計	242,147	430,734
資産合計	1,649,042	1,987,419
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	16,990	21,515
1年内返済予定の長期借入金	4,560	92,640
未払法人税等	158,655	123,428
役員賞与引当金	60,000	—
賞与引当金	39,780	19,880
その他	172,449	126,042
流動負債合計	452,435	383,506
固定負債		
長期借入金	91,500	—
資産除去債務	—	67,828
固定負債合計	91,500	67,828
負債合計	543,935	451,334
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	328,165	358,627
資本剰余金	320,156	350,482
利益剰余金	456,783	827,384
自己株式	—	△410
株主資本合計	1,105,106	1,536,084
純資産合計	1,105,106	1,536,084
負債純資産合計	1,649,042	1,987,419

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,157,577	1,499,068
売上原価	240,700	312,148
売上総利益	916,876	1,186,920
販売費及び一般管理費	370,700	478,028
営業利益	546,176	708,891
営業外収益		
受取利息	6	10
受取手数料	3,386	4,149
その他	600	291
営業外収益合計	3,992	4,451
営業外費用		
支払利息	4,336	2,413
上場関連費用	15,656	—
その他	310	337
営業外費用合計	20,302	2,751
経常利益	529,866	710,591
特別損失		
固定資産除売却損	—	2,348
特別損失合計	—	2,348
税引前四半期純利益	529,866	708,242
法人税、住民税及び事業税	112,666	208,517
法人税等調整額	52,574	24,730
法人税等合計	165,240	233,247
四半期純利益	364,625	474,995

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2023年5月19日を払込期日とする譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行8,611株により、資本金が19,417千円、資本剰余金が19,417千円増加しております。また、新株予約権の権利行使により資本金が11,044千円、資本剰余金が10,908千円増加しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において資本金が358,627千円、資本剰余金が350,482千円となっております。

(セグメント情報)

## I 前第3四半期累計期間(自2022年1月1日至2022年9月30日)

当社は、訪問看護ステーション向けサービス提供事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## II 当第3四半期累計期間(自2023年1月1日至2023年9月30日)

当社は、訪問看護ステーション向けサービス提供事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(株式分割および株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2023年11月10日開催の取締役会において、株式分割および株式分割に伴う定款の一部変更を決議いたしました。

## 1. 株式分割について

## ①目的

投資単位当たりの金額を引き下げるにより、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整え、投資家層の更なる拡大と当社株式の市場流動性の向上を図ることを目的としております。

## ②株式分割の方法

2023年12月31日(同日は株主名簿管理人の休業日につき、実質的には2023年12月29日(金))を基準日として、同日の最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する当社普通株式1株につき2株の割合をもって分割いたします。

## ③分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	7,195,566株
今回の分割により増加する株式数	7,195,566株
株式分割後の発行済株式総数	14,391,132株
株式分割後の発行可能株式総数	51,200,000株

(注) 上記の発行済株式総数及び増加する株式数は2023年10月31日現在の発行済株式総数により記載しているものであり、株式分割の基準日までの間に新株予約権の行使等により変動する可能性があります。

## ④分割の日程

基準日公告日	2023年12月15日(金) 予定
基準日	2023年12月31日(日)
効力発生日	2024年1月1日(月)



## ⑤ 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が、前事業年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
1株当たり四半期純利益	27.60円	33.79円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	27.30円	31.21円

## ⑥ 新株予約権行使価額の調整

今回の株式分割に伴い、当社発行の新株予約権の1株当たりの権利行使価額を2024年1月1日以後、次のとおり調整いたします。

新株予約権 (発行決議日)	調整前行使価額	調整後行使価額
第1回新株予約権 (2014年5月26日)	7円	4円
第4回新株予約権 (2019年12月27日)	201円	101円
第5回新株予約権 (2020年11月30日)	242円	121円

## 2. 株式分割に伴う定款の一部変更について

## ① 定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2024年1月1日を効力発生日として、当社定款の一部を変更いたします。

## ② 変更内容

変更前	変更後
第6条 (発行可能株式総数) 当社の発行可能株式総数は、 <u>25,600,000株</u> とする。	第6条 (発行可能株式総数) 当社の発行可能株式総数は、 <u>51,200,000株</u> とする。

## ③ 定款変更の日程

取締役会決議日 2023年11月10日

効力発生日 2024年1月1日